

■**米国：AEP、子会社の発電事業の送配電事業からの分離を FERC に申請**

アメリカン・エレクトリック・パワー社（AEP）は2012年2月10日、子会社であるオハイオ・パワー社の発電事業を送配電事業から分離する申請を連邦エネルギー規制委員会（FERC）へ提出した。オハイオ・パワー社は部分権益所有を含めて15の発電所、合計1,200万kWの設備を所有しており、これら設備と関連する燃料施設や関連契約などを別会社であるAEPジェネレーション・リソーシーズ社へ移管する。一方で、オハイオ・パワー社は送配電事業に特化する。AEPは今後、4年半にわたる段階的な料金設定により小売料金を市場価格による決定方法に移行することとしており、その前提として同社の発電事業の分離がオハイオ州公益事業委員会により承認されている。